

# 学生プレゼンテーション

Student Presentation

第一部

地域で輝く  
先進的理工系人材の育成

## 研究活動から得た経験

愛知工業大学 大学院 経営情報科学研究科

博士前期課程 1年 木村友亮

### アジェンダ

1. 自己紹介
2. 愛工大の立地環境
3. 研究活動 1
4. 研究活動 2
5. まとめ

## 自己紹介

- ◆ 愛知県田原市出身（実家はキャベツ農家）

プログラミングやシステム開発を学びたい

⇒【工業高校 → 専門学校 進学】

IT技術で農業課題を解決したい

⇒【専門学校 → 愛工大3年次 編入】

画像処理やロボット技術で農業課題に挑戦したい

⇒【大学 → 大学院 進学】

所属研究室 企業出身の教授

⇒ 学外との共同研究・連携が盛ん



AIT 愛知工業大学

## 愛知工業大学 八草C(愛知県豊田市)の立地環境

- ▶ 自動車産業などモノづくりが盛ん
- ▶ 愛知県 農業も盛ん  
産出額 全国8位！（2023）

- ▶ キャベツ生産は全国1位！  
重労働&担い手の高齢化  
⇒ 軽労化技術開発 【研究活動1】  
(知の拠点 重点研究P)

- ▶ 平成大合併で広大な山間地も豊田市  
休耕田や山林の管理  
⇒ 休耕田の半自動草刈り技術開発  
【研究活動2】



AIT 愛知工業大学

## 研究活動1 キャベツ栽培の軽労化技術開発

4

知の拠点あいち重点研究プロジェクト 参画

- ▶ 産学行政連携の共同研究
- ▶ 生育のばらつきを減らし、収穫を効率化するために可変施肥  
画像から生育を認識して施肥量を変更

◆ 工学と農学分野を融合 ⇒ 生産者を加えた実証評価



可変施肥実験風景

AIT 愛知工業大学

## 研究活動2 リモコン草刈り機の移動自動制御

5

豊田市、しきしまの家 共同研究

- ▶ ラジコン草刈り機を画像処理により自動移動
- ▶ しきしまの家イベント「ふらっと祭」草刈りゲームを出展  
地域活動の盛り上げに貢献



リモコン草刈り機実験風景



草刈りゲーム体験風景

AIT 愛知工業大学

## まとめ

6

### 研究活動を通して

- ・現場の課題に寄り添い、解決策を模索する経験をした
- ・自治体や地域と協働して、社会実装の大切さを学んだ
- ・技術を“実際に使われる形”に落とし込む視点を得た

### 将来の展望

- ・農作業の軽労化・省力化に貢献できる人材になりたい
- ・農業とITをつなぐ架け橋として活躍したい

AIT 愛知工業大学

# 地域から世界を動かす理工系人材

—地域で輝く先進的理工系人材の育成—

大阪工業大学 情報科学部 情報メディア学科 4年

増田 結



## 大阪工業大学について



データサイエンス学科



実世界情報学科



情報知能学科



情報システム学科



情報メディア学科

- ✓最先端の映像メディアを学ぶ
- ✓人にやさしい情報技術を学ぶ
- ✓新しい技術に対応していくためのベースとなる情報技術を学ぶ

情報メディア学科は、各種メディア処理技術に加え、認知や行動心理学も学べるゲームや生成AI、3D映像、メタバース、知能ロボットといった様々な分野に応用されている言葉、画像、音、体感を駆使した表現力の高い情報システムを開発できる人材を育成する

## ソイチャレについて

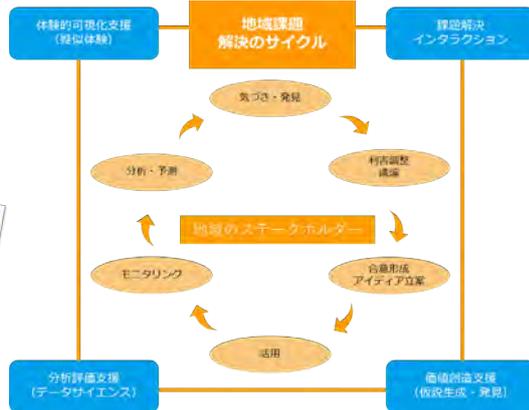


### Visual Computing Laboratory

コンピュータグラフィックスや画像処理を駆使した革新的な技術開発や、驚きを感じられるようなコンテンツ開発を目指している基礎研究から応用研究、コンテンツ開発まで、幅広い分野を扱っている大規模なデータを、言語表現だけでなく視覚的に表現することで、高効率な情報理解を目指すまた、多彩なデバイスを用いて研究することが可能



### ソイチャレ 産官学地域課題解決 「Social Open Innovation Challenge」



# 歩行者支援安全システムについて

## ステークホルダー

枚方市政策推進課：「市民のニーズを踏まえたまちの課題解決に向けた、ニーズの把握と分析について」

## 背景

枚方市の目指す将来像

「再発進 ひらかた 人が主役のゆとりと賑わいのまち」

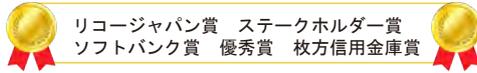
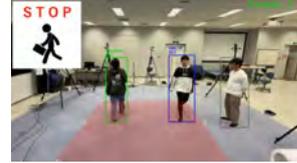
サブテーマ：全ての世代が様々なライフスタイルを実現し、交流できるまち

## 目的

枚方市駅周辺再整備基本計画の交通基盤と公共サインにおける課題解決

## 内容

- ①歩行者信号機の下に設置した2つのカメラで歩行者を検知
- ②検出は物体検出モデル「YOLOv8」で行う
- ③人のみ抽出し、抽出した人数をカウント
- ④横断歩道領域を指定し、領域内の内外判定を実施
- ⑤顔検出モデル「DeepFace」を用い、歩行者の年齢と性別を予測
- ⑥自動車に対し、歩行者の有無をピクトグラムで表示する



リコージャパン賞 ステークホルダー賞  
ソフトバンク賞 優秀賞 枚方信用金庫賞



# その他の活動

## プレーパークこうりがおか

ステークホルダーと連携し、バーチャル空間上に新しい形のプレーパークを構築

- ・多視点画像から3Dシーンを構築
- ・バーチャル空間に現実世界を再現
- ・子どもたちはWebブラウザ上で自由に探索し、遊具を使って遊ぶことが可能
- ・条件を満たすとトロフィーを獲得でき、達成感と継続的な参加を促す仕組み



## 水都大阪コンソーシアム&大阪水上バス

水都大阪に関する歴史を学び、魅力を発信するプロジェクト  
水上バス（アクアライナー）にのるきっかけを作り、水都大阪の歴史や魅力を伝える

アプリケーションを開発

- ・位置情報をタブレットから取得
- ・遊覧船が予め指定した位置に移動すると通知
- ・通知の種類はクイズ、豆知識の2種類



## ダイコロ株式会社

枚方市に本社をおくスクールアルバム制作会社

- ・依頼者ごとに好まれるレイアウトの特徴が異なる
- ・レイアウト工程はデザイナー独自の感覚に依存する
- ・作業の自動化が困難であるため、多くの労力が必要

デザイナーのレイアウト規則に基づいた独自のデータセット生成  
機械学習を用いた卒業アルバム制作におけるレイアウト支援



# おわりに



01

## 身近にいる地域の人々を笑顔にする技術者

身近にいる地域の人々の生活に寄り添い  
不便なことや悩みを技術の力で解決し  
「ありがとう」と笑顔を生み出せる技術者

02

## 小さい声にも耳を傾けることができる技術者

小さい声を大切に  
一人ひとりの想いに寄り添いながら  
地域の人と一緒によりよい未来をつくる技術者

03

## 人と技術をつなぐ技術者

技術を単なる知識ではなく  
人の課題を解決する“力”として活かし  
人と技術をつなげて新しい価値を生み出す技術者



# 防犯ボランティアによる 地域課題への取り組みについて

神奈川工科大学  
情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 4年  
KAIT BLUE代表 大工原 望乃子

1



## KAIT BLUE(カイトブルー)とは

- 2011年6月に活動を開始した  
学生自主防犯ボランティア団体。  
現在40人が所属。
- これまでの活動
  - 学内駐輪場での2重ロック呼びかけ運動
  - サイバーポリスサポーター養成講座への参加
  - 駅周辺防犯パトロールへの参加
  - 少年少女フェスティバルへの参加
  - 防犯教室の実施



2重ロック呼びかけ運動



サイバーポリス  
サポーター養成講座



駅周辺防犯パトロール



少年少女フェスティバル



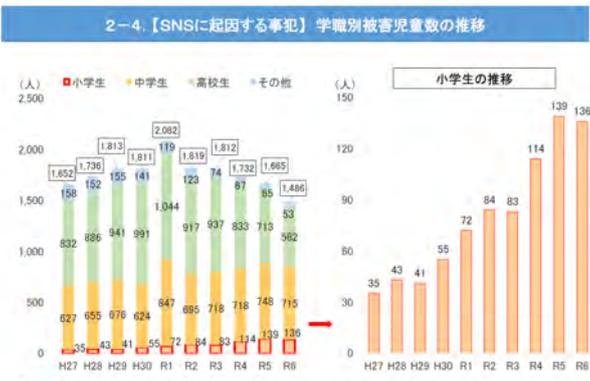
2

## 地域課題

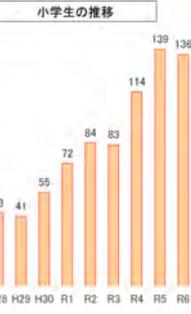
SNSに起因する小学生の  
被害児童数は**増加傾向**である。  
→小学生のうちからSNS利用による**危険性、対策法**について  
伝えていくことが大切。



### 2-4.【SNSに起因する事犯】学種別被害児童数の推移



学種	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学生	35	43	41	55	72	84	83	114	139	136
中学生	627	655	676	624	647	685	718	715	748	715
高校生	832	886	941	991	1,044	917	937	833	713	562
その他	158	152	141	155	181	189	74	67	53	52
<b>合計</b>	<b>1,652</b>	<b>1,736</b>	<b>1,813</b>	<b>1,811</b>	<b>2,082</b>	<b>1,819</b>	<b>1,732</b>	<b>1,685</b>	<b>1,486</b>	<b>1,486</b>



小学生の推移

※ R4とは、本県計では、通信ゲームを遊ぶ、外出のある出会い系サイトを利用したものを指す。  
 ※ SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて直接間接に被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった事犯。  
 ※ 対応機関は、児童福祉法違反、児童虐待「児童がインターネットを利用し、少年少女虐待被害を被る事案」、児童相談所(個人、施設、学内、不特定性交等、被害児童、人身売買、不特定性交等)、連絡監視、児童虐待等及び性的虐待被害等防犯法第2条から第6条に規定する罪(児童虐待等及び性的虐待被害等防犯法違反は令和5年から追加)。  
 ※ 不特定出会い系サイト等不特定性交等は、令和5年7月1日以前は連絡先が「せつ」及び「強制性交等」であり、厳密に令和5年以前との人数を比較できない。

SNSに起因する事犯の被害児童数は、令和元年から5年連続減少しているものの、依然として高い水準で推移。学種別では、令和6年における小学生の被害児童数は、平成27年に比べて3倍以上に増加

【出典】 警察庁「令和6年における少年非行及び子供の性被害の状況について」 3

## 地域課題への取り組み

- 地元地域の子ども会や学校から依頼を受け、防犯教室を実施。  
→主にSNSやゲームからつながる犯罪の危険性について伝えて対策を一緒に考えた。
- 厚木市役所からの依頼を受け、主体となって毎年イベント内の防犯ブースにて小さいお子さん向けの啓発活動を実施。  
→紙芝居, 反射板作り, 自作のクイズなどを高校生たちと共に行っている。



4

挨拶・講演

学長プレゼンテーション

学生プレゼンテーション

## KAIT BLUEの今後の展望

地域課題で挙げたSNSを起因とする犯罪被害のように、現在のデジタル社会においてサイバー犯罪はとても身近なものになっている。以前からKAIT BLUEには情報学部の学生が多く所属しており、コロナ禍によるメンバー不足のため活動を中止していましたが、活動に積極的な学生が再び増えてきたことから、日頃の学びに近い「サイバー防犯活動」を再開していきたい。そして、この「サイバー防犯活動」は今日の地域課題解決につながる活動であると考えている。

以前は...

サイバー犯罪に対する  
防犯活動を実施

(コロナの影響から団員減少に伴って活動を中止)

来年以降

サイバー犯罪に対する  
防犯活動を再開予定



5

## 地域からの評価

過去に頂いた表彰



本年(R7)2月、本学のある厚木市から、厚木市制70周年記念式典にて「未来へつながる一歩功労」という特別賞をいただきました。



6

事例発表

## 捕獲技術継承を目的とした仮想訓練システムの開発

芝浦工業大学デザイン工学部 4年  
メディア体験デザイン研究室 尾上瞳



### 01 | 熊本県のイノシシによる被害額の推移とその対策

- 日本の野生動物による農作物被害での年間損失は164億円（令和5年度）
- 特に熊本県では減少傾向にあったイノシシによる被害も令和3年度から約0.9億円上昇



箱罠(1)

- ①場所を決める
- ②餌付けによって①の場所に誘因
- ③餌付けを続けて罠への警戒心を解く
- ④罠で捕獲
- ⑤処分

価格：約5～8万円  
重量：約50～80kg



くくり罠(2)



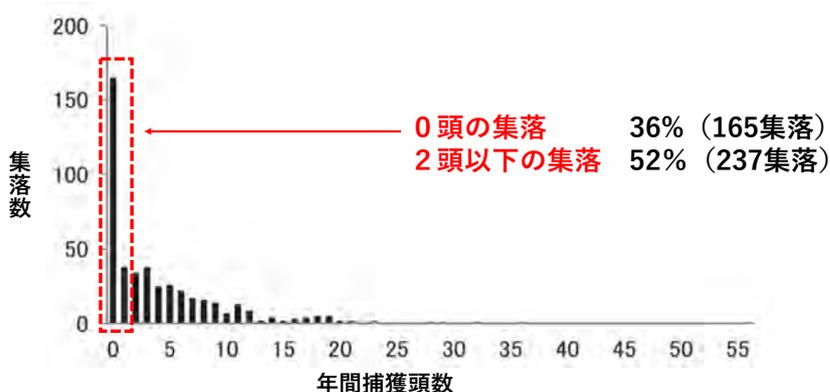
囲い罠(3)

設置に時間がかかる上に罠自体の値段が高く持ち運びも容易ではないため、

**捕獲効率を高め活用することが重要**

農林水産省."農作物被害状況",2025,<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/index.html>(2025-7-13).  
 (1)[https://www.kyowatecno.jp/ktsite/wp-content/uploads/2018/03/hakonawa\\_eye.jpg](https://www.kyowatecno.jp/ktsite/wp-content/uploads/2018/03/hakonawa_eye.jpg)  
 (2)[https://www.choujuhigai.com/images/nk0001\\_01.png](https://www.choujuhigai.com/images/nk0001_01.png)  
 (3)<https://www.mirai-no-agri.jp/wp/wp-content/uploads/5fcb5675-1024x682.jpg>

### 02 | 集落に設置された箱罠の捕獲状況（460集落；2012年度）



- 死罠（年間捕獲頭数が2頭以下）の割合が過半数
- 年間に多く捕獲できている集落はごく一部で、全体的に捕獲効率に大きなばらつきがある

兵庫県森林動物研究センター「シカ・イノシシの捕獲推進のための技術と体制」ISSN(2025) 1883-8219.

### 03 | くまもと☆農家ハンターとの連携

イノシシ被害から地域を守る若手農家130人による2016年7月から活動している地域コミュニティ。ICTを取り入れた効率的な捕獲や対策を行っている。



- ・捕獲技術の習得
- ・狩猟免許の取得支援
- ・地域ぐるみの鳥獣被害対策 など



実践的な知識とスキルの提供△

くまもと☆農家ハンター：“くまもと農家ハンター”いのしし対策、ジビエ活動を農家自身の手で”2025, <https://farmer-hunter.com/> (2025-7-13).

### 04 | フィールド調査

調査日：2025年6月 調査場所：熊本県宇城市戸馳島



箱罠の設置場所の見学



熟練者の罠設置時の視線計測の様子

### 05 | VR空間での仮想罠設置



# 未来につながる半導体技術を創る

## 東北の活性化に貢献する半導体プロセス技術の研究

東北工業大学 工学部 電気電子工学科 4年  
高田 柊

未来のエスキースを描く。  
東北工業大学

### 背景

AIの普及  
データセンター向け

↓

半導体の高性能化  
市場規模拡大

集積回路イメージ

- 製造過程における膨大な資源消費
- 有害物質の使用
- 温室効果ガスの排出

エッチングプロセス技術の革新  
プロセスにおける環境負荷低減

### 課題

- ✓ 製造～デバイス稼働 = 消費電力の増大
- ✓ 製造プロセスで生じるCO<sub>2</sub>やPFCs排出による環境問題
- ✓ 高精細半導体プロセス技術の寡占化 (NVIDIAやTSMCなど)

半導体プロセス 高精細化と環境負荷低減を両立  
→ エッチングプロセスに着目

**問題点**

1 従来のエッチングプロセスならば、

- 使用されるエッチングガスの種類・量
- プラズマによるエッチングガスの活性化
- 除害装置の高効率化.. etc

オリジナルプロセスの  
開発！！

## 研究テーマ：反応性エッチングガスの特定解離制御

(東京エレクトロン宮城株式会社 (宮城県) と共同研究を推進中)

### エッチング用ガス = CF系ガス

CF<sub>4</sub>分子を**プラズマ**で活性化してイオンもしくはラジカル化  
→ イオンorラジカルCF分子で基板表面をエッチング

A set of electron collision cross sections for the CF<sub>4</sub> molecules

CF<sub>4</sub>をプラズマに通すと広範囲のエネルギーを持ったイオンorラジカルCFが生成

しかし、

本来、エッチングに必要なエネルギーを持ったCFイオンはこれで充分！

必要なエネルギーのみ保有するCF分子の活性イオンを生成する技術を確立する必要アリ

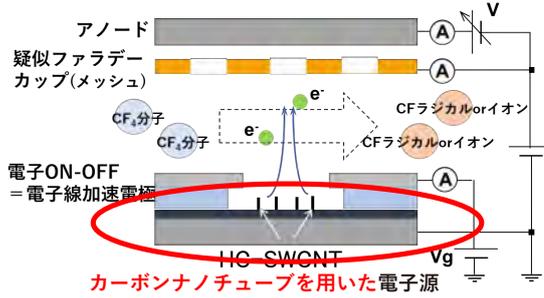
**目的**

特定のエネルギーを持った電子線をCF<sub>4</sub>ガスに照射して**必要なCF活性イオン“のみ”**を形成

- エッチングの超微細化
- プロセスの環境負荷低減

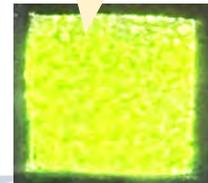
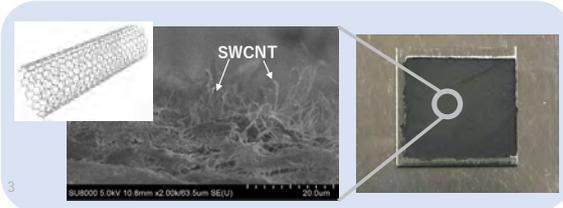
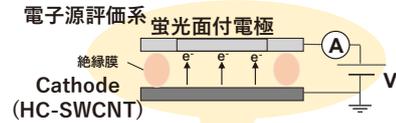
## 反応性エッチングガスの特定解離制御

特定のエネルギーを持つ電子線を放出 &  $CF_4$  ガスに照射



カーボンナノチューブを用いた電子源

- 電子放出源として単層カーボンナノチューブ (HC-SWCNT) を利用  
= 電界電子放出機構を電子源として活用
- 平面状に電子を放出する素子を開発



面状に電子放出した HC-SWCNT 電子源



未来の  
エスキースを  
描く。



# 瀬戸内海のクラゲ大量発生問題と 駆除作業の自動化への取り組み

広島工業大学大学院  
 工学系研究科  
 機械システム工学専攻  
 伊藤 翔

未来の、その先をつくる。  
 広島工業大学

## 瀬戸内海でのクラゲ大量発生問題(1)

 広島工業大学

- 近年、海水温の上昇などにより、瀬戸内海で水クラゲの大量発生  
 ⇒ 地域水産業・観光業の被害が増加
- 瀬戸内海の水クラゲ大量発生の様子



瀬戸内海の水クラゲの様子



広島県田島漁港でのクラゲ大量発生



田島漁港の定置網漁の様子

被害を減らすため、地域の水産関係者によるクラゲ駆除作業が行われている。

2

## 瀬戸内海でのクラゲ大量発生問題(2)

 広島工業大学

- 従来のクラゲ駆除方法:



従来のクラゲ駆除方法の例<sup>[1]</sup>: 漁網でクラゲを集めて小型船舶の船外機などを用いて粉碎して駆除

広島県の水産業界では、漁業就業人口の減少と平均年齢の上昇により、労働力不足が問題となっている。

クラゲ駆除作業の軽労化・自動化が求められている。

[1] Tottori Prefectural Government, "https://www.pref.tottori.lg.jp/item/422850.htm", Accessed data 2023/02/27

3

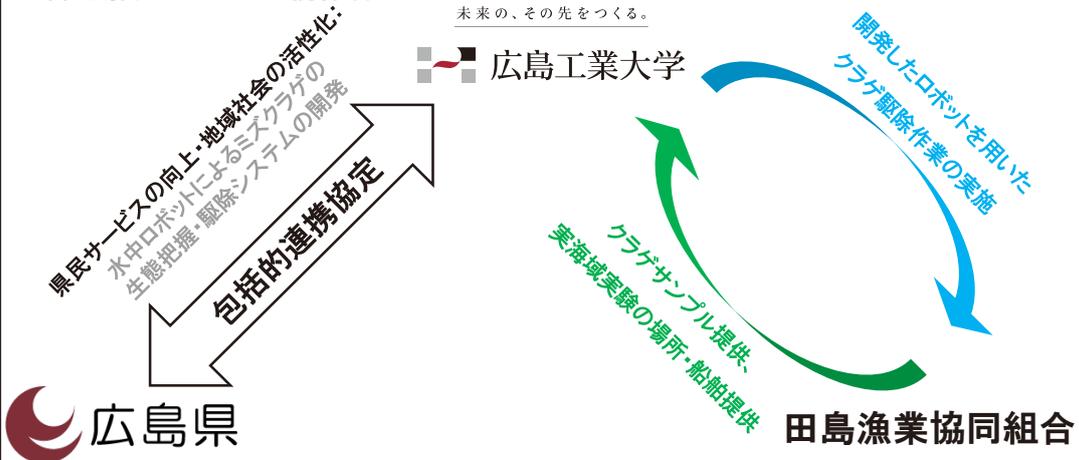
## 地域課題解決のための取り組み

広島工業大学

- 課題解決のための連携体制:

未来の、その先をつくる。

広島工業大学



広島県

4

## クラゲ駆除ロボット実験

広島工業大学

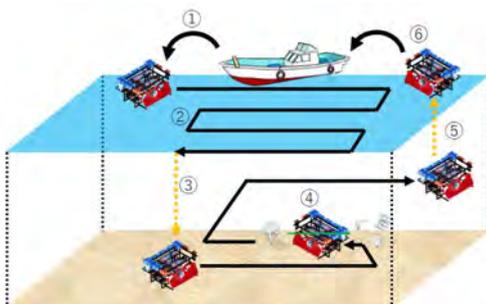


5

## 今後の取り組み

広島工業大学

- 自律システムの開発
  - カメラ情報やセンサ情報を用いてクラゲを認識して駆除するシステムの開発を目指す。



提案する水中ロボットを用いた  
クラゲ駆除方法



深層学習を用いた  
クラゲ認識システムの開発の様子

6



**FUT Awara Space Center** **スマート地上局の構築に向けて**

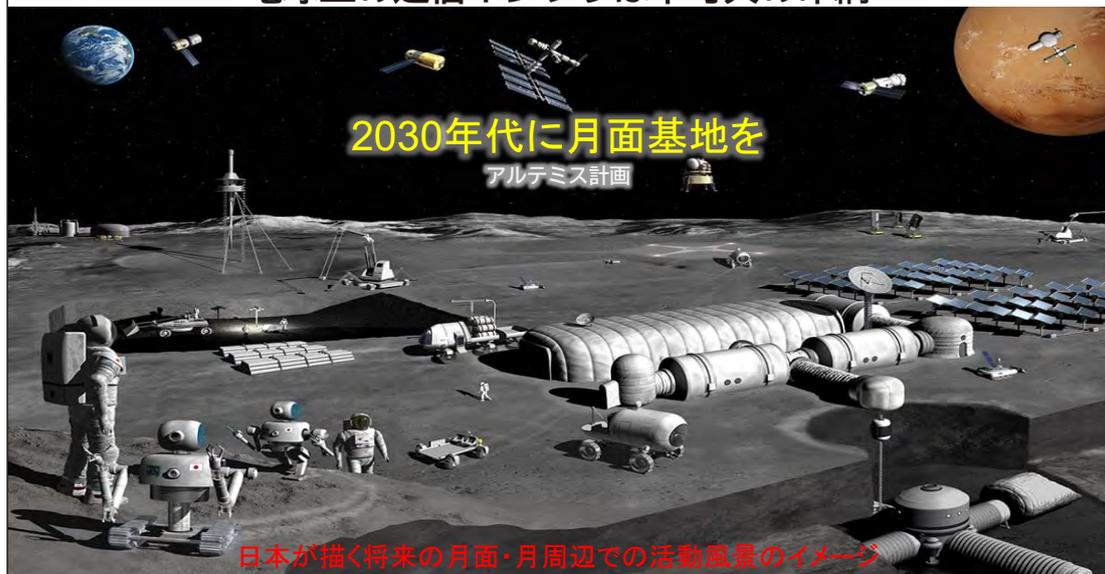
宇宙がもっと近くなる。 — SDRによる新しい衛星信号受信システム開発の試み —

- 地球周回衛星運用 (3.9 m)
- 宇宙観測 (2.4 m)
- 月探査機運用 (10.3 m)
- 月探査機運用 (13.5 m)

グエン・リー・コイ  
福井工業大学 大学院 応用理工学専攻  
宇宙情報科学コース 1年

**地球上の通信インフラは不可欠の命綱**

**2030年代に月面基地を**  
アルテミス計画



日本が描く将来の月面・月周辺での活動風景のイメージ

**地球一月通信インフラ拡充のために**

— 衛星地上局の効率化・低コスト化が必要 —

**スマート地上局とは**

- ▶ 自動化・最適化: ソフトウェアで制御・信号処理を動的に調整
- ▶ 自律運用・遠隔化: 異常検知や復旧、複数衛星対応を自動化
- ▶ 低コスト・拡張性: 汎用機材活用で安価、機能追加も容易

**本研究** ソフトウェア受信機(SDR)の導入を検討

# FUSIONプロジェクトについて

福井県における

「衛星開発⇒衛星運用⇒データ提供」のワンストップサービスの構築

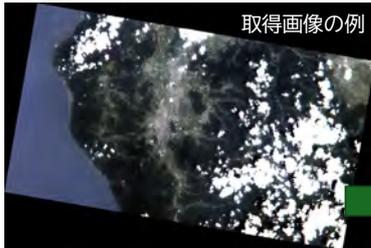
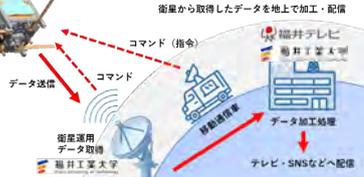
「ふくい衛星運用ネットワーク構築プロジェクト:FUSIONプロジェクト」  
(FUKUI Satellite Implementing of Operation Network project)が進行中



- セーレン、福井テレビ、福井大学との共同研究(福井県の補助金)
- 2025年1月打ち上げ
- 衛星搭載ソフトウェア、衛星運用、衛星データ利活用に関する技術開発、人材育成で協力



人工衛星運用のイメージ



取得画像の例

地域の環境や災害リスクを衛星データで見える化し活用



口径3.9mアンテナで毎日運用

## FUSION衛星の信号受信実験

RF受信系

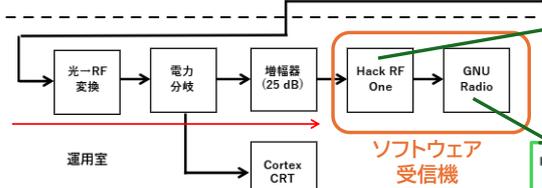
3.9mアンテナドーム



ソフトウェア受信機  
(Software Defined Radio)



- コンピュータと組み合わせて信号処理をソフトウェアで行う
- **低コスト(約10万円)**
- 通信パラメータの動的最適化が可能



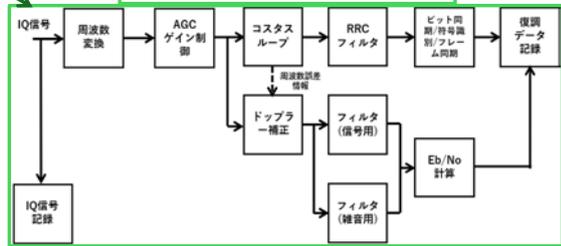
ソフトウェア受信機

Cortex CRT (サフラン社製)



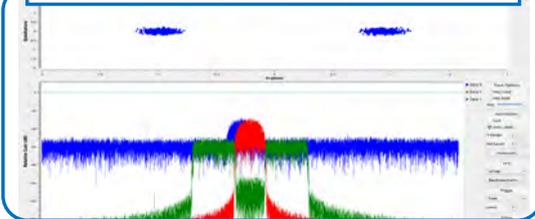
- 世界の宇宙機関などで最も良く使われている(高い信頼性)
- **高コスト(約2千万円)**
- 通信パラメータは固定(自由度が低い)

ソフトウェアによる信号処理

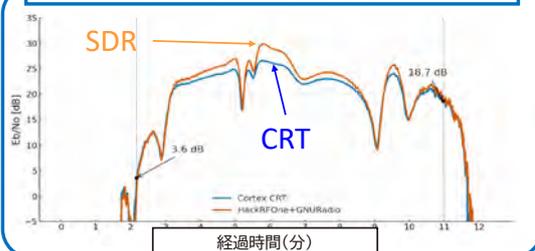


## まとめと今後の展望

SDRによる受信信号の信号配置図およびスペクトル



受信信号のSN比の時間変化



➢ CortexCRTと同等のスペクトル、信号配置図、SN比が得られている。

➢ 低コストSDRによる衛星信号受信・復調の基本システムを構築した。

➢ SDRを用いた通信パラメータの最適制御について検討をしていきたい。

2026年

アルテミス2のOrion宇宙船の信号受信で使用予定

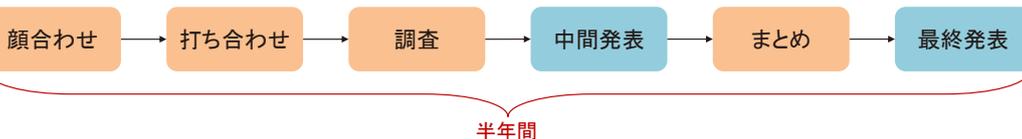
## 課題解決型学習を通じた地域活性化の可能性



令和7年 11月 29日  
 福岡工業大学 情報工学部 システムマネジメント学科  
 徳島 由依

### ■ 課題解決型学習 (PBL) の概要

- 2017年度より古賀市内企業と連携したPBLを開始。
  - 学生19名が古賀市及び古賀市内企業8社と連携し、企業の抱える課題をテーマに解決策を検討。



### ■ 実際に取り組んだテーマ

#### 「古賀市のふるさと納税における改善と魅力度向上戦略」

##### 背景

- ふるさと納税の競争が激化している。
- 自治体には効果的なプロモーションが求められている。

##### 目的

- 地元食品メーカーの商品価値を高める。
- ふるさと納税の寄付額と寄付件数を増やす。

##### 現状

- リピート率は高いが、返礼品に関する寄付者の真のニーズを把握できていない。
- 時期によって寄付件数に差が生じている。

## ■ 調査方法

3

➤ 寄付者の返礼品へのニーズを正確に把握するためにアンケート調査を実施した。

### アンケート内容

– 20～60代 : 50名

– 項目

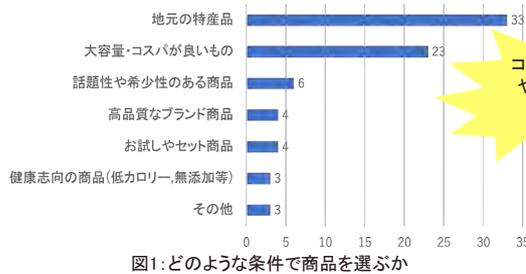
- ① ふるさと納税を利用する頻度 (単一選択)
- ② どのような条件で商品を選ぶか (複数選択)
- ③ 食品を選ぶ際に重要視する点 (単一選択)
- ④ 希望する寄付金額の範囲 (単一選択)



FIT 福岡工業大学  
For all the students - すべての学生生活のために

## ■ 結果・考察

4



コスパの良さ  
や特産品を  
重視

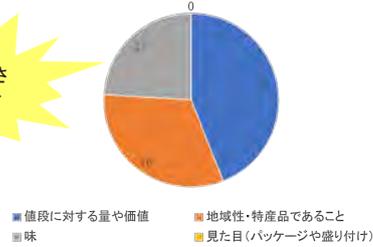


図1: どのような条件で商品を選ぶか

図2: 食品を選ぶ際に重要視する点

	内容	対応する提案・改善案
重視点	コスパの良さを重視	世帯人数ごとに容量を調整した商品バリエーションの拡充
消費目的	自己消費が中心(贈答用ではない)	
希望寄付金額	1~1.5万円未満が最多	手頃な価格帯の商品ラインナップを強化
継続利用	リピート率は高い	定期便(ex:毎月発送)の導入でリピーター維持を促進

FIT 福岡工業大学  
For all the students - すべての学生生活のために

## ■ まとめ

5

実際に取り組んだテーマ

古賀市のふるさと納税の税収を増やす。



他の取り組み

- i. 工場内の運搬時間を明確化し、各運搬作業に対する人員配置の適性をモデルシミュレーターによって検討する。
- ii. 和菓子の製造工程においてサブリング分析などの作業分析を実施し、作業効率向上のための改善案を提案する。
- iii. 販売商品の需要を対象に、ホルト・ウィンタース法を用いて感染状況の変化を考慮した販売個数の予測を行う。

経営工学的アプローチによる課題解決

FIT 福岡工業大学  
For all the students - すべての学生生活のために

## 道の駅おとふけインターン活動報告

なつぞらのふる里とトカプチ400で描く新しい地域価値のかたち

未来デザイン学部人間社会学科 1年 塩口七海



### 活動概要 -道の駅おとふけインターン-

#### -活動期間・実施場所・関連-

- ・2025/8/20~2025/8/26 一週間実施
- ・道の駅おとふけなつぞらのふる里にて
- ・音更町役場、トカプチ400関係者協力

#### -活動の目的-

道の駅おとふけの増築をきっかけに、学生の立場から地域と観光の新しい関わり方を考え、地域資源を活かした新しい観光モデルを企画・提案することで、施設の魅力をより多くの人に伝える。



© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

2

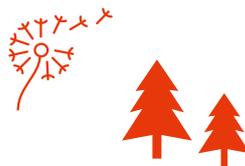
### 現状と課題

#### 現状 (Facts)



道の駅は「通過点」になっている。  
滞在時間が短い。

#### 課題 (Problems)



トカプチ400との連携が弱い。  
地域資源が十分に活用されていない。

#### 提案の必然性 (Why)



通過点になっている道の駅を、地域体験であり十勝の玄関口に変える提案。

© Hokkaido University of Science All Rights Reserved.

3

### 提案内容 短期フェーズ：CAR TO サイクル

### - 車で訪れ、自転車でめぐる新しい十勝観光 -



「道の駅おとふけ＝サイクリング」  
というイメージをつける。

- ・ レンタルプランの充実
- ・ コース、ルート設計
- ・ 予約、決済システムの導入



### 学び・評価

#### 活動を通して得た学び



- ▶ 現地での調査や関係者へのヒアリングを通じ、地域の課題を“肌で感じながら考える力”を身につけた。
- ▶ 町職員や事業者との対話を通して、アイデアを「実現につなげる視点」の大切さを学んだ。

#### 地域からの反応・評価



十勝、音更町の良さを自転車で体験していただけるという提案は、個人的にもとても嬉しい。関係人口も増えるのならば、なおのこと。

株式会社オカモト 地域共創・文化事業本部  
道の駅おとふけ事務局長 山本茂貴 様



実現可能性はある。先のインターンでの提案も、実現に向けて動いている。具体的な提携先や金銭管理は、委員会で議会にかければ可能。

音更町経済部商工観光担当  
部長 月居謙介 様

### おわりに



## 地域の魅力を自転車をつなぐ